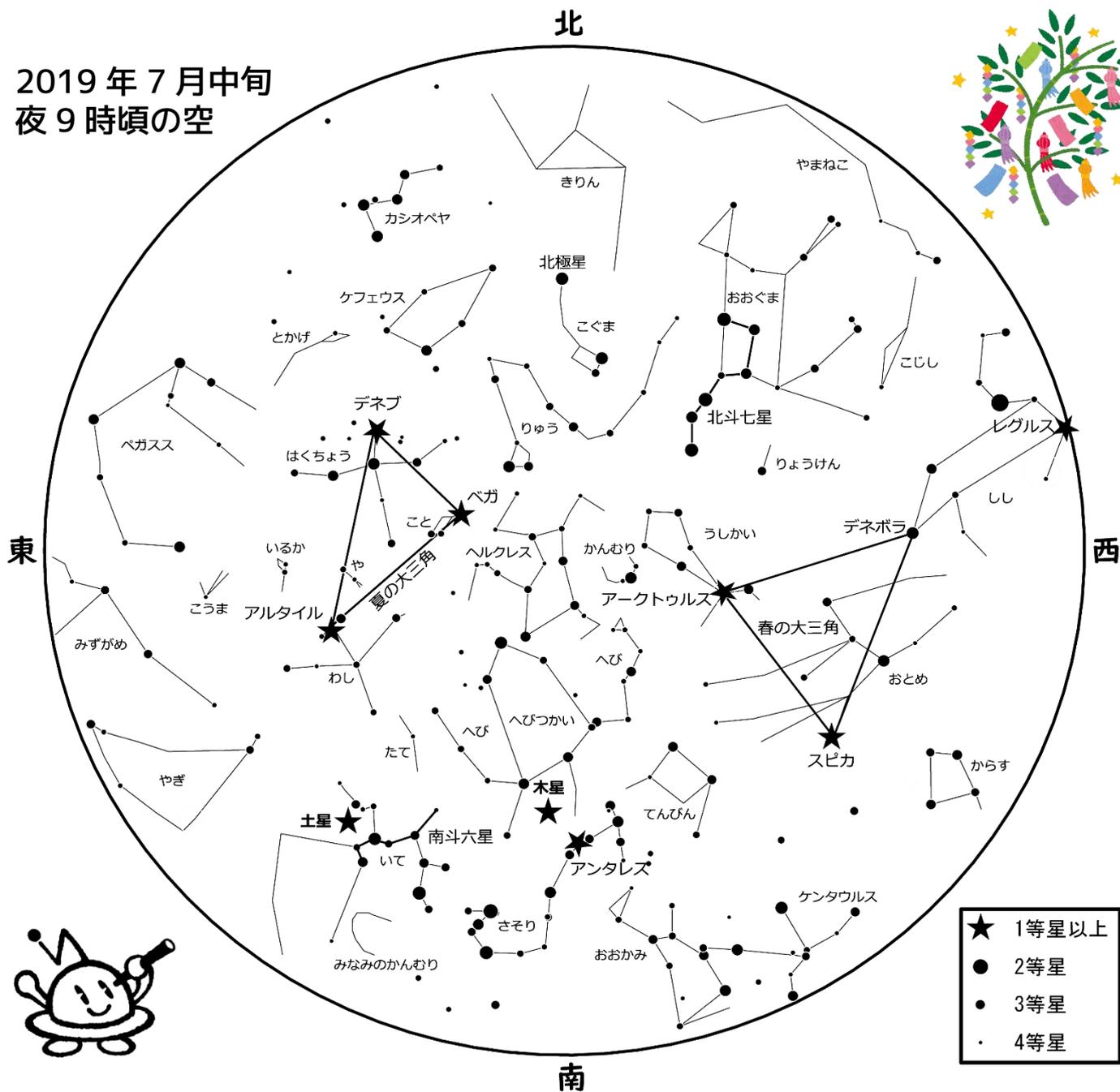


阿南市科学センター 7月の星空案内

2019年7月中旬
夜9時頃の空



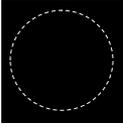
7月といえば七夕ですね。こと座のベガ（織姫星）と、わし座のアルタイル（彦星）が夜空の高い位置に昇ってきました。この二つの星と、はくちょう座のデネブを結んだ大きな三角形が夏の大三角です。

さそり座の一等星アンタレスの近くには木星があります。この空で一番明るく輝いていますので、すぐに見つかるでしょう。木星の東側には土星があります。土星は木星より少しくらいですが、科学センターの望遠鏡で見ると、土星の美しいリングを見ることができます。土星の近くには、いて座の南斗六星があります。南斗六星は北斗七星と比べて暗い星が多く、高度も低いいため見つけにくいですが、土星を目印に探してみましよう。

天体観望会の予約・お問い合わせ先

阿南市科学センター 徳島県阿南市那賀川町上福井南川淵8-1 電話 0884-42-1600

☆月の満ち欠け

名称	新月	上弦の月	満月	下弦の月
形状				
見える日	7月3日	7月9日	7月17日	7月25日

☆惑星について

名称	水星	金星	火星	木星	土星
見どころ	7月の初め頃は日没後、西のごく低空で見える。	7月の初め頃は夜明け前、東のごく低空に見える。	夜空が暗くなる前に沈むので、観察は難しい。	前半夜から南の空で見える。	前半夜から南東の空で見える。
明るさ	約0等	約-4等	約2等	約-2.5等	約0等

☆おすすめ天体【土星】

惑星の中で最も人気のある土星が7月10日に“**衝**”になります。土星の見どころはなんといっても“**リング**”です。リングは1枚の板のように見えますが、実はたくさんの氷の粒が集まってできています。

リングには“カッシーニの隙間”と呼ばれる隙間があります。空の条件が良い時に科学センターの113cm望遠鏡で観察すると、カッシーニの隙間が黒いスジとなって見えます。また、土星の衛星が見えることもあります。

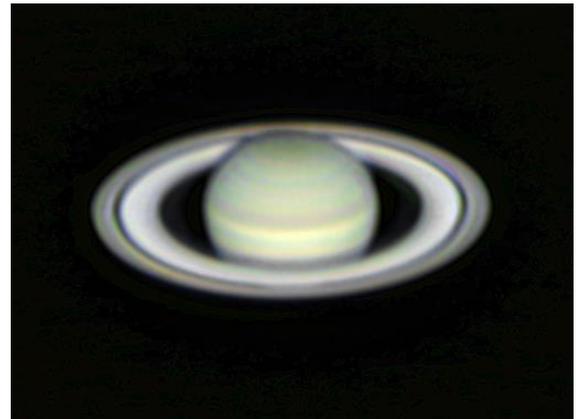


図1:土星

◎外惑星の観望好機の目安となる天文用語“**衝**”

地球と木星・土星の位置関係 (2019年7月10日)

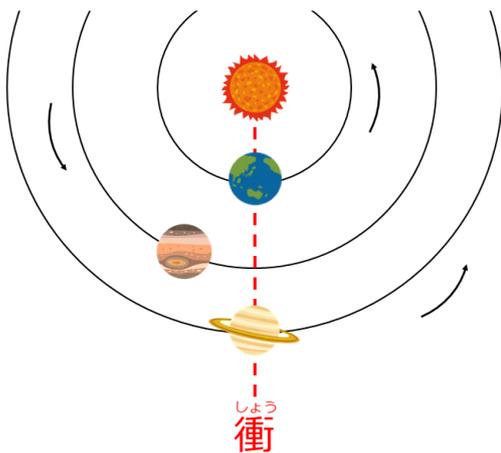


図2:衝について

地球の公転軌道よりも外側にある惑星のことを外惑星（※）といいます。外惑星の観望の好機は、地球と外惑星が接近した時です。

図2のとおり、太陽-地球-外惑星が一直線に並んだあたりが、地球と外惑星が最も接近し、この状態を“**衝**”といいます。衝付近の外惑星は地球に接近しているため、望遠鏡で見ると普段よりも大きく見えるうえに、ほぼ一晩中観望できます。そのため、衝付近にある外惑星は、観望の好機となります。

7月10日に**衝**となる土星だけでなく、木星も8月までは科学センターの観望会で見ることができます。今年の夏は科学センターの観望会で、木星・土星を観望してみましょう！

※外惑星・・・火星，木星，土星，天王星，海王星